

平成24年3月1日

各 位

東京都港区港南二丁目16番1号
大東建託株式会社
代表取締役社長 三鍋 伊佐雄
(東証・名証第1部 コード番号1878)

— 国内林業の活性・国産材利用の推進を評価 —
平成23年 住宅・木材振興表彰で
最も評価の高い「林野庁長官賞」を受賞！

大東建託株式会社は、国土交通省及び林野庁が後援、財団法人 住宅・木材技術センター※が主催する平成23年 住宅・木材振興表彰において、最も評価の高い「林野庁長官賞」を受賞しましたので、下記の通りお知らせいたします。

※ 財団法人 住宅・木材技術センター

財団法人 日本住宅・木材技術センターは、木造住宅などにおける木材の利用技術を開発、普及し、関連する産業を活性化することを目的として、昭和52年(11月24日)に農林省(現 農林水産省)と建設省(現 国土交通省)の許可を受けて、設立された公益法人です。



表彰式に参加する専務取締役 浅野秀樹(前列右端)



記

1. 「住宅・木材振興表彰」の概要

「住宅・木材振興表彰」は、

『地域材活用、或いは新技術・技術の活用等により木造住宅の活性化に寄与した企業・団体』もしくは『木材、特に地域材の利用の推進や木材産業の発展に寄与した企業・団体』

に対して表彰する制度で、平成20年より実施されており今回で3回目の表彰となります。

今回、最も評価の高い「林野庁長官賞」は、当社を含め3社が受賞しています。

2. 「林野庁長官賞」受賞にあたり、ご評価いただいた内容

当社はコアビジネスとして、賃貸住宅経営の事業企画、設計・建設から仲介・管理に至るまで、一貫したサービスを提供しています。商品企画・建設においては、2×4工法を中心とした木造住宅を強く押し進めており、今回“国内林業の活性化”および“国産材利用に注力”した企業として、特に以下3点について、高く評価されました。

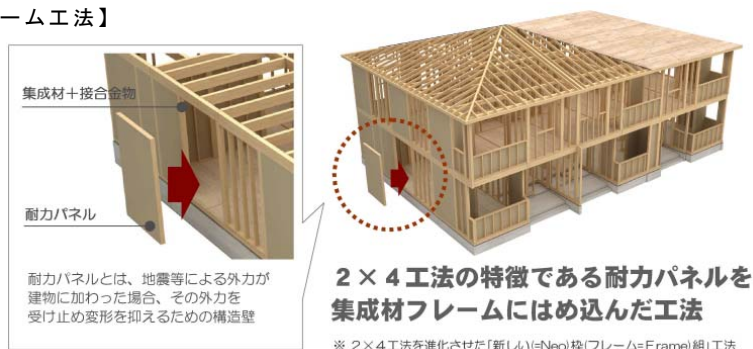
1) 新技術の活用・普及 / 耐震性に優れ、環境にもやさしい新木造工法の開発

平成22年、当社で主力としてきた木造2×4工法を更に進化させたオリジナル工法（名称：ネオフレーム工法）を開発・販売を開始しました。（平成22年4月：国土交通省大臣認定）

この工法は、木造2×4工法の特徴である優れた“耐震・耐風・耐久性”を有しており、さらに廃材の削減や国産木材を活用するなど環境負荷を低減します。

●ネオフレーム工法を導入した賃貸住宅供給実績／1,146棟（平成22年度：販売初年度）

【ネオフレーム工法】



2) 地域材の活用 / 国産スギの間伐材を住宅建設材料として活用

平成21年より、木造2×4工法による賃貸住宅建設に、国産スギ材を利用したスタッド材（枠組部材のたて枠）を開発・導入しました。これまで国産材がほとんど使用されていなかった国内の木造2×4工法の住宅建設にスギ間伐材を活用することで、国産材の新たな需要を創出することができました。更に適切な森林整備の推進にも貢献することができました。

現状の生産体制では、月産158㎡（20,000本）を可能としおり、当社の2階建てアパートでは年間180棟に相当する国産スギ材を利用しています。

3) 地域経済の活性化 / 木材の地産地消を推進

熊本県のスギ材を九州の建設現場で利用するなど、建設地域で育った木材を建築に利用することで地産地消を推進し、林業を中心とした地域産業の活性化に寄与しています。

3. 当社実績（平成22年度年度）

当社は、「住宅供給数」「木造2×4工法着工数」において、建設業界でトップ水準に位置しています。

- 住宅供給数 : 4.8万戸
- 木造2×4工法着工数 : 3.7万戸

以上

この件に関するお問い合わせ
大東建託（株）経営企画室
高橋、山本
03（6718）9068